

平成27年度第2回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議

1 開催日時 平成27年10月6日(火) 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	片倉 憲太郎	委員	和田 操
副委員長	田中 直子	委員	進藤 節子
委員	池田 美佐子	委員	大熊 賢滋
委員	藤野 宜秀	委員	佐藤 永太
委員	奥野 智禎	委員	石井 和夫
委員	竹元 悦子	委員	石井 千香
委員	飯島 武志	委員	関本 智子
委員	神崎 保	委員	赤時 麻衣子
委員	佐々木 まさ子		

(欠席委員)

委員	三浦 外夫	委員	吉田 恭子
委員	小島 直子		

4 出席職員

福祉部長	宮嶋 亮二
子育て支援課長	今関 磨美
子育て支援課副課長(こども家庭班長事務取扱)	鳥井 孝之
子育て支援課副課長(子育て環境推進班長事務取扱)	竹川 義治
子育て支援課子育て環境推進班主査	岡 智彦
保育課長	小阪 潤一郎
保育課副課長(保育班長事務取扱)	高浦 正充
教育部学校教育課副参事(指導班長事務取扱)	井関 徹太郎
教育部学校教育課副課長(学事保健班長事務取扱)	泉水 雄一郎
市民健康部健康推進課副課長(すこやか親子班長事務取扱)	川西 正宏

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	1人

6 議 題

(1) 子ども・子育て支援事業計画について

①幼保連携の推進について【資料1】

②小規模保育事業について【資料2】

(2) その他

7 議 事

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言。 ・片倉委員長、挨拶。 ・議事進行を片倉委員長に移す。
<p>議題（1）子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>①幼保連携の推進について</p>	
事務局	説明
赤時委員	<p>先日、津波が心配される日がありましたが、このようなときの今井幼稚園の対応について教えてください。</p> <p>また、避難時の経路は線路を迂回しなければならないため、園児の足では遠いという声があます。もし、こども園化を推進する過程で今井幼稚園を建て替えるようなことがあるならば、既存の場所では工事が困難であろうし、子どもの安全を確保していただきたいので、内陸部への移転を検討してほしい。</p>
事務局	<p>発令されたのは津波注意報であったため、学校も幼稚園も通常通りの通学、通園とし、各家庭への連絡等は行っておりません。現状の避難経路については、最短経路になっているのか再確認します。</p> <p>また、建て替えについては、この場で回答できませんので、意見として承らせていただきます。</p>
赤時委員	<p>津波が心配で、中川幼稚園に子どもを通わせたいと考えている保護者もいます。中川幼稚園のバス送迎エリアが広がれば、入園率も向上すると思うので、検討してほしい。</p> <p>また、館山市や市原市、君津市の公立幼稚園では、給食が提供されていると聞きました。本市でも、新しくできた学校給食センターの給食を公立幼稚園に提供してほしい。</p>
事務局	この場で回答できません。今後研究させていただきます。

関本委員	こども園は幼稚園と保育所のいいとこ取りであり、実現するのいいと思いましたが、平川地区でこども園化を推進する場合、中川幼稚園と吉野田保育所のどちらがこども園になりますか。
事務局	本日は、現状と課題のみ説明させていただきました。今後、子どもたちにとってどのような形が良いのか多角的に検討していきます。

議題（１）子ども・子育て支援事業計画について

②小規模保育事業について

事務局	説明
進藤委員	小規模保育事業は素晴らしいと思いますが、２歳までしか預かれないので、保護者からすると、３歳以降どうなるのか不安にならないでしょうか。
事務局	３歳以降の受け皿となりうる施設と協定を締結するよう連携の指導を行うとともに、認可申請の際にも連携状況を確認させていただくことにより、保護者への不安を払拭したいと考えています。

議題（２）その他

事務局	説明
田中委員	こども園のメリットについては、よくわかりました。 以前、保育所を考える会のような検討の場があったと思いますが、当時参加した人から、こども園についても触れられていたと聞いています。このときの検討結果について知りたいので、次回の会議資料に添付してほしい。
事務局	次回会議時に、資料として用意したいと思います。
和田委員	本日、耐震の説明がありましたが、なるべく早く耐震化を図っていただきたいと思います。
片倉委員長	本日の議題について終了。
事務局	・ 閉会宣言。 <div style="text-align: right;">以上</div>